

安心安全な住みよいまちをめざして

平成24年度
決算報告

一般会計歳出総額 100億2,103万3千円

一般会計の決算は、歳入106億6,316万1千円、歳出100億2,103万3千円で、差額6億4,212万8千円を平成25年度に繰り越しました。

会計別決算状況

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	10,663,161	10,021,033	642,128
国民健康保険特別会計	4,315,570	4,088,785	226,785
公共下水道事業特別会計	922,272	861,085	61,187
中部特定土地区画整理事業特別会計	250,659	178,089	72,570
介護保険特別会計	1,787,028	1,704,931	82,097
後期高齢者医療特別会計	235,951	235,187	764
合計	18,174,641	17,089,110	1,085,531

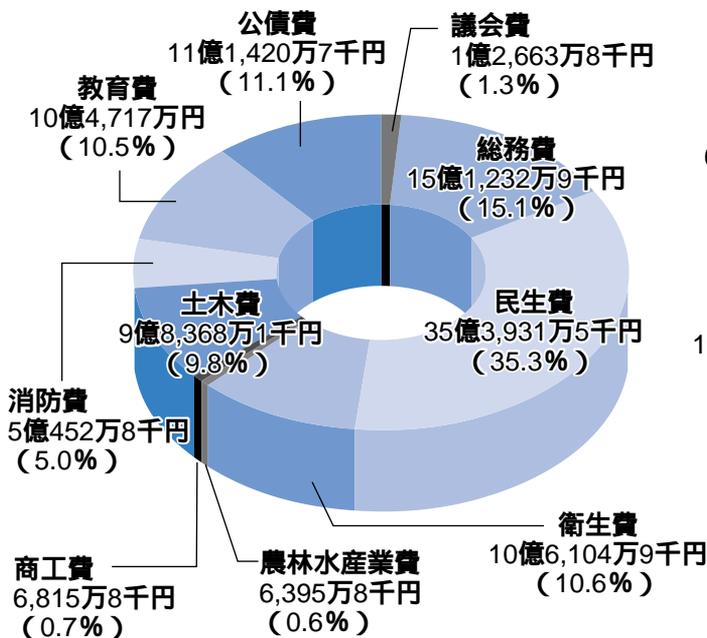
予算区分	収入	支出
水道事業	収益的	817,879
	資本的	537,620
	1,043,654	817,879

資本的収入額が、資本的支出額に不足する額511,347千円は、建設改良積立金、減債積立金等で補てんした。

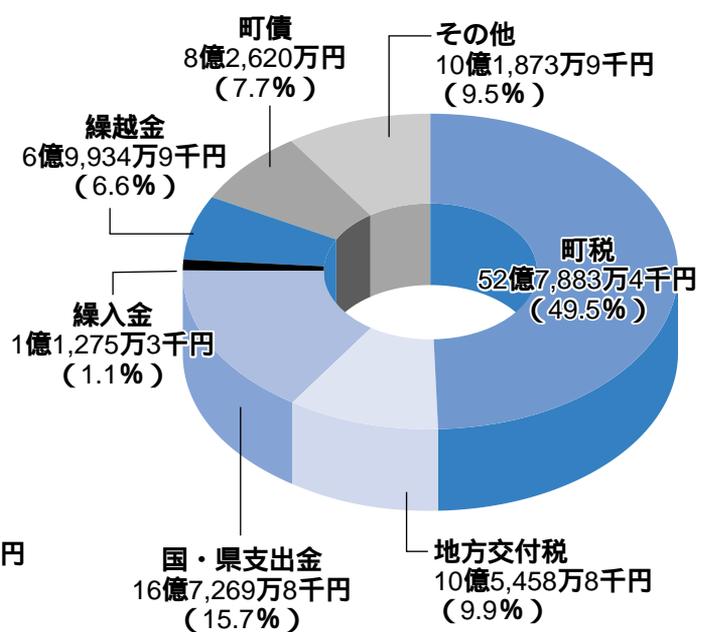
収益的収支...水道水を供給するなどの営業面の収支

資本的収支...配水管の布設などの改良事業面の収支

歳出 100億2,103万3千円



歳入 106億6,316万1千円



町の財政状況



平成24年度決算統計をもとに、町の財政状況をお知らせします。

経常収支比率

89・4%

人件費、扶助費、公債費などの毎年継続して固定的に支出される経費が、町税、地方交付税などの経常的な一般財源総額に占める割合を経常収支比率といえます。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を計る指標で、この数値が高いほど財政の弾力性がないことを示します。

町の比率は、前年度と比較し、4.4ポイントの上昇となりました。

実質公債費比率

11・5%

町が借り入れたお金（地方債）の元金および利子の償還に必要な経費を公債費といいます。

平成24年度実施の主な事業

一般会計のお金の主な使いみちを紹介します。

各種予防接種実施事業

103,887千円

各種がん検診等実施事業

46,141千円

用排水路維持管理・整備事業

4,524千円

業

丸山駅バリアフリー化事業

173,075千円

ホームページリニューアル事業

4,200千円



利用者の利便性向上のため、丸山駅エレベーター設置工事を行いました。

総合センター耐震診断事業

6,111千円

福祉三医療費支給事業

256,139千円

心身障害児通園関連準備事業

5,610千円

教育センター設置事業

6,939千円



教育センターを設置し、教育相談や補充学習指導等を行いました。

小・中学校整備事業

126,157千円

スポーツ都市宣言30周年記念事業

2,000千円



スポーツ都市宣言30周年を記念して、スポーツ振興講演、ウォーキング教室等を開催しました。

いな穂街道整備事業

73,422千円



用地買収と水路の切替工事を行いました。

街区公園等整備事業

17,590千円

高機能消防指令センター整備事業

10,658千円